



| 阿久根市の人口 | |
|--------------------------|--------------|
| 住民基本台帳人口と世帯数 (5月1日現在) | |
| 人口 | 29,960 (-8) |
| 男 | 13,971 (+34) |
| 女 | 15,989 (+26) |
| 世帯数 | 9,596 (+44) |



5月号

今年も豊作、実エンドウ

昨年、一昨年と二年続きの冷害に見舞われ、平年作の約半分の収穫と農家をがっかりさせた阿久根特産の実エンドウ。

今年は温かい気候に恵まれ、収穫も順調。二年ぶりの豊作が期待される。

「サヤもきれいで、量も多く、値もよか」と、農家の表情も明るく、久しぶりに笑顔が戻ってきた。

県内一の実エンドウの産地阿久根市では、市内百七十ほどに実エンドウが栽培されている。昨年の十月頃植え付けた実エンドウは、早い地域では三月下旬から収穫に入り、四月から五月の中頃までがピークでこの頃が一番忙しい時期。

朝五時に集荷場に出たあと実エンドウ畑での収穫に取りかかり、びっしりになった実エンドウを「サヤーサヤー」と、これを精選くまでかなり選別。朝、集荷場に運び、四、入りのケースに詰めて主に東京、大阪の市場へ出荷される。

阿久根の実エンドウは日本一との折紙つきで、実も柔らかく、味が良いとのこと。

今年も約一千、八億円もの金額を見込んでおり、この実エンドウの収穫が始まる頃、阿久根にも初夏が訪れ本格的な夏を迎える。



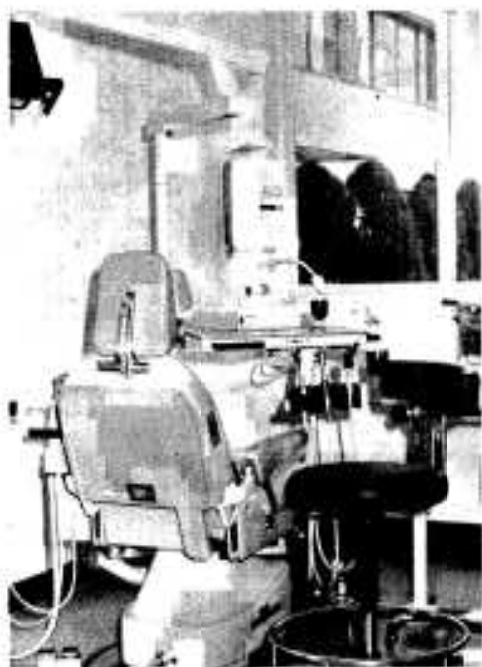
幼児相談もゆつたりと室内で

保健センター 働く婦人の家

鉄筋コンクリート造三階建て、
総事業費は三億九千九百七十九万円
延面積二千四十五平方メートル、一階は
保健センターで、健康相談室、検
査室、事務室など市民の健康づく
りの拠点、二・三階は働く婦人の
家で、二階には着付教室や各種会
合などが行える講習室、相談室、

市民の皆さん、気軽にご利用を

使いやすいと好評



充実した設備（歯科診療室）

保健センター、働く
婦人の家、橋本地区公
民館がオープンしまし
た。
施設は、阿久根市が
市民の健康増進、教育
の振興と、国や県の
補助を受け昨年から建
設していたものです。
市民のみならず、気
軽に、ふだん着のまま
ご利用ください。



巡回健康診査に市民も多数参加

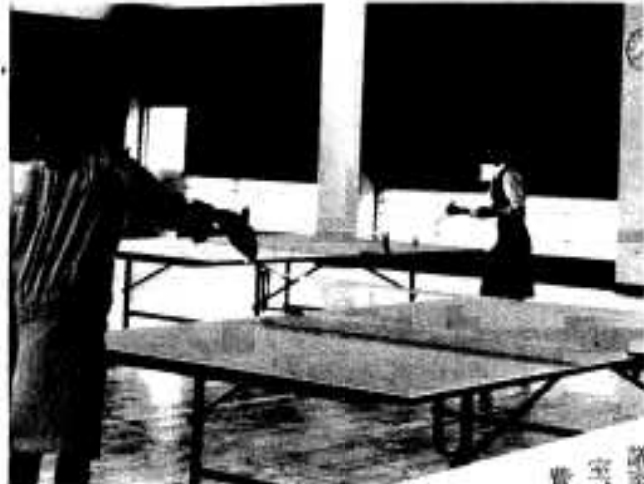
市民の声

- 設備が充実していますね。
（五十歳代主婦）
- 場所的にも便利で、清潔
（二十歳代主婦）
- 料理実習室の設備がすばら
しい。教室に参加したい。
（三十歳代主婦）
- ワーカー広い。部落婦人会等
活用したい。（五十歳代主婦）



料理実習室など、三階には百人収容の大会議室、バトミントン、フリーテニス、卓球などできる軽運動室、学童学習室などとなり、婦人の健康、福祉増進、余暇利用の場として利用していただきます。

使用時間は午前九時から午後九時まで、月曜日が休館となります。



写真

①講習室では研修会も盛ん ②最新設備の整った料理実習室 ③軽運動室では卓球、バトミントンなどできる



脳本地区公民館

脳本地区公民館は鉄筋コンクリート造二部二階建て、一階には七百八人収容の大会議室や調理室、車庫、公民館事務所など、二階には三十人収容の小会議室や各種の教室や研修ができる研修室、図書室などとなり、総事業費一億七千七百万円。

また、公民館の裏には運動広場も完成。ゲートボール、ソフトボールなど楽しめます。



写真

④公民館の裏には運動広場も設置。ソフト、ゲートボールができる

⑤ 700人収容の大会議室



広々としたロビー

——脳本地区公民館——

○脳本地区にふさわしい立派な公民館で、充実した施設だ。

(五十歳代男性)

○ゲートボールやソフトボールがいつでもできるのが魅力。

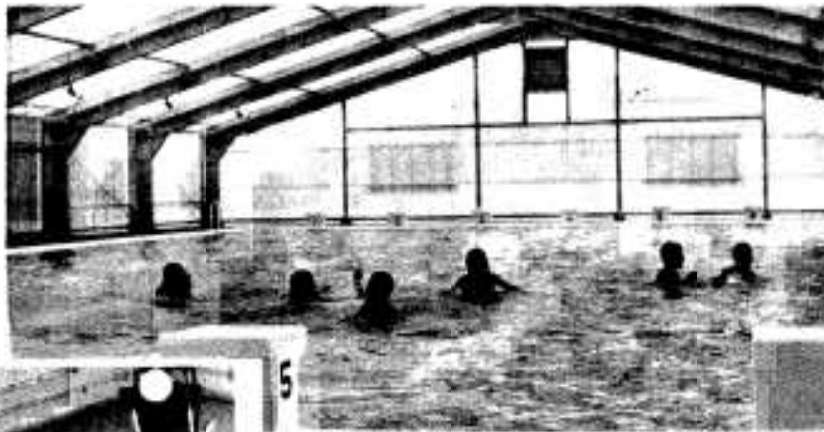
(二十歳代男性)

○教室に参加したい。

(三十歳代主婦)

B&G 財団 海洋センターオープン

スポーツの拠点施設に



使用が開始された
プールと体育館



B&G財団「ブルーシー・アンドグリーンランド財団」大いに活用して参ります。」とお礼を述べました。

今度完成した施設は体育館とプールで、現在の総合グラウンドの東側に位置します。

体育館は鉄骨造り千四百平方メートル、バスケットコートが二面取れるほか、バドミントン、テニス、卓球などの施設も完備されています。

体育館 プール

います。このほかミーティング室、シャワーなども設けてあります。プールはアルミ製、二十五メートル、長さ十メートルの幼児用プールも併設されています。また、上層根付で長期間、風雨の時でも泳げるのが特徴です。

B&G財団 阿久根海洋センター
使用の案内

体育館 午前九時～午後十時
プール 午前九時～午後八時
プールのみ高校生以上二時間
一〇〇円他の施設は無料
休館日 毎週月曜日

三笠町農協 肥育豚センター完成

一千頭飼育を目指す

三笠町農協(平石正美組合長)の肥育豚センターが完成。豚の飼育が始まりました。

肥育豚センターは、三笠東部地区農業構造改善事業の一環として桐野萩ノ迫に、今年一月から建設が進められていたもので総事業費九千三百万円。

延べ面積八千四百平方メートル、二つの肥育豚舎、管理舎、推肥舎が建設されています。



すでに、子豚の搬入も始まり、最終的には常時一千頭の飼育を目指すこととしており、畜産農家の経営安定を図ることにしています。



誕生 おめでと

- | | | |
|--------|-----|-----|
| 出生児 | 保護者 | 区名 |
| 小牟田智美 | 伸雄 | 大尾 |
| 京田 修一郎 | 修 | 波留 |
| 川崎 亜由美 | 昭憲 | 尾崎 |
| 卷木 勝平 | 又男 | 浜 |
| 久保 晶子 | 賢治 | 中村 |
| 新町 陽平 | 和正 | 一段 |
| 新坂上光信 | 三男 | 一段 |
| 中野 真吾 | 勝 | 的場 |
| 倉津 裕也 | 義男 | 大丸 |
| 中村 和幸 | 一栄 | 中屋敷 |
| 松本 弥生 | 正友 | 大尾 |
| 尾上 明日香 | 和弘 | 飛松 |
| 本蔵 加代子 | 基 | 新町 |
| 上鶴 敬生 | 剛志 | 脇馬場 |
| 園田 勇希 | 賢史 | 古里 |
| 富浜 里美 | 吉郎 | 黒之浜 |
| 樽 持寿 | 勝 | 古里 |
| 千年原 潤 | 政和 | 脇馬場 |
| 北岸 由美 | 柳一 | 波留 |

「身体障害者に対する日本国
有鉄道等の旅客運賃の割引」
の一部改正についてお知らせ

これまで、旅客運賃割引証を福祉事務所が発行していましたが、四月二十日以降は割引証を廃止し、手帳を窓口に表示するだけで旅客運賃の割引ができるようになっていきます。



ウエットスーツ姿の漁夫によって放流される稚ウニ

種ウニ20万個放流

高之口、小漣、佐潟沖に

来年秋には採取

漁家の所得向上を図るために、昨年度から稚ウニの放流が行われていますが、今年も四月二十日市内の高之口、佐潟、黒之浜の三カ所で稚ウニの放流が実施されました。

稚ウニは垂水の栽培漁業センターで人工飼育されたアカウニの稚ウニ。高之口、佐潟に五万個ずつ、黒之浜に十萬個放流しました。このうち黒之浜では、栽培センターから運ばれた稚ウニを漁業関係者が放流場所の小漣沖まで船で運び、ウエットスーツ姿の漁夫によって深さ十四計の海底の岩に放されました。

放流された稚ウニは二年後には採取できる見込。市では来年度もこの事業を続け、漁業振興を図ることにしています。

黒之上、大漣、小漣、八郷分団合併 新しく

黒之瀬戸分団に

脇本地区の黒之上、大漣、小漣、八郷の分団が合併、新しく黒之瀬戸分団が台併、新しく黒之瀬

市長 実エンドウ出荷を視察 助役 実エンドウ出荷を視察

「頑張ってください」と激励

四月二十六日と五月一日、川畑市長と新助役は、最盛期に入った実エンドウとソラマメの集荷状況を視察し、生産農家を激励しました。

今年はず之浜、飛松、永田上、深田、大漣など二十二カ所を早朝に視察。今年は冷害等による害も少なく、出荷も順調。例年の二倍の収量を見込んでおり、農家の表情も明るく、川畑市長も「今年が良い実エンドウですね」と生産農家を激励していました。



出荷状況を視察、激励する市長と助役

「お笑福を
お折ります」

| | | | | |
|----|-----|----|-------|-----|
| 大田 | セイ | 94 | (尻無中) | 長義 |
| 本蔵 | ソノ | 82 | (浦) | 芳江 |
| 倉田 | 秀治 | 54 | (町) | ナル |
| 中野 | 金衛 | 58 | (川畑中) | ノブ |
| 植村 | ニワ | 65 | (山馬場) | 永俊 |
| 下瀬 | 三太郎 | 75 | (的場) | キヨノ |
| 吉田 | ツヨ | 76 | (平田) | 洋義 |
| 長尾 | 明 | 55 | (段) | 美幸 |
| 新糖 | 常吉 | 84 | (倉津) | 未弘 |
| 野畑 | キヨ | 79 | (天下) | 茂 |
| 松下 | キサノ | 81 | (天林) | 豊 |
| 寺地 | 小之助 | 81 | (尻無下) | ハツノ |
| 尾島 | トヨ | 81 | (波留) | 昇 |
| 渡辺 | シケン | 76 | (新町) | 武揚 |
| 盛永 | テル | 75 | (尾崎) | 良平 |
| 小園 | 未太郎 | 78 | (田代下) | 栄吉 |
| 花木 | ケイ | 93 | (的場) | 清美 |
| 宇都 | 助八 | 81 | (湯) | 俊一 |
| 中川 | 武雄 | 75 | (町) | チミ |
| 野村 | 三守 | 48 | (黒之浜) | カツエ |
| 宮野 | 文字 | 34 | (天漣) | 松夫 |

むし歯予防週間
六月四日から十日まで

歯科無料相談

〇期日 六月六日(日)

〇時間 12時から午後三時まで

〇場所 ショッピングセンター

お問い合わせ

ボクシング

高校総体まぢか

8月2日から7日まで開催

準備も順調、本番待つだけ あと七十日余り

高校総体の開催まで、いよいよあと七十日余り。「南国に颯え若人、はやくめ反情」のスローガンのもと、本市でも総体へ向け着々と準備が進み、老人クラブによる花づくり、地域における清掃、声かけ運動など、市民運動も盛りあがっています。

阿久根市ではボクシング競技が行われ、会場は大陽団体の時使用した市民体育館が会場となります。

周辺に迫った総体へ向け、さらに市民運動の盛りあがりを目指し、市民一人ひとりが一丸となり、全国から集まる若者を温かく迎え、大会を成功させましょう。総体の準備のようすを紹介しましょう。



地元からも選手にと練習に励む阿久根高校ボクシング部

競 技

阿久根市はボクシング会場、高校生によるチームの編成は、モスクイト級から体重の重いスーパーヘビー級までの十三階級に分かれ、四十六都道府県から選手、役員、一般観戦者合わせて約六百五十人が阿久根を訪れる予定です。

競技日程は、八月二日が開会式、競技は三日から七日までの五日間行われ、七日の閉会式ですべてを終了します。

大会の運営には、それぞれ役員を配置して運営を進めますが、補

施 設

当初、会場は阿久根高校を予定していましたが、昨年十月阿久根で行われた県下新人ボクシング大会を視察された、全国高校連の助言により、宿舎から会場が近い、交通の便が良く、練習会場に適した市民会館がとなりにある、などを

宿 泊

選手、役員などの宿泊については、現在、仮宿泊計画が決まっています。それによると、市内十の旅館が宿泊を受け入れることとなります。競技会場までの選手の輸送については車による輸送が計画されていますが、ほとんどの宿泊所が市街地のうへ会場までの距離も短いことから輸送には心配はな

更しました。

市民体育館は大陽団体の時のボクシング会場で、施設は現状のまま使用が可能で、観覧者も八百人は収容できる見込みです。

また、となりの市民会館は選手控えや、検診、事務局などとして使用します。

いものと思われま

駐車場についても、市民会館前広場、市役所駐車場を開放します。の駐車余地は充分です。

会場への交通については、鶴見地区の区画整理がほぼ終了しましたので、スムーズな交通ができるものと予想されます。

市民運動

花いっぱい運動などで市民の盛りあがりに期待

いま一つ盛りあがりのほしい総



広告塔でPR

体ですが、本番へ向けさらに積極的な運動を展開します。

まず、花いっぱい運動については、会場周辺を花で飾る計画が進んでいます。具体的には、市内の各老人クラブによるフラワーポットの設置で、これは各老人クラブでサルビア、マリーゴールド、百日草などの花を栽培していただき、大会時に会場周辺に持ち寄ってもらい飾るもので、このほか市街地の三号沿いにも置く計画で、フラワーポットの数は六百五十個。

また、阿久根農校にも花の栽培をお願いしており、この花も会場周辺に設置します。

九州高校
総合体育大会
(ホクシンク)
六月十九日(土)二十日(日)
阿久根市民体育館

この大会は、八月に行われる高校総体のリハーサル大会です。

競技会場図



阿久根市ではホクシンク

八月二日から七日まで

◆昭和五十七年度全国高等学校総合体育大会
八月一日から十日まで、ただし水泳は十七日から二十日。

〔競技種目〕：陸上・剣道・庭球・軟式庭球・バスケットボール・ボクシング・柔道・ソフトボール・バドミントンなど。

げます。すでに、阿久根駅前、大川、折口の三方所にはホクシンク会場案内の広告塔も設置され、近日常に市役所にも懸垂幕をかかげ市民へのPRに努めます。

選手、役員などの宿泊所の旅館、飲食店組合でも、すでにこの二月料理講習会への参加など講習を重ねており、六月に最終的に講習会

を実施し、本番を迎えることにしています。

また、事務局では市民へのPRにパンフレットの配布や広報車による呼びかけも積極的に進んでいます。

きれいなまちで大会を迎えようと各地域では老人クラブ、婦人会、青年団を中心に空カンひろい、道路の清掃など美化活動も盛んになりました。高齢者学級のお年寄りのみなさん方では、花だんを花いっぱいにしてしようと頑張っています。

阿久根市はボンタンの特産地。ボンタンを全国にPRするよい機会です。市民会館前のボンタン園を整備しPRに努めるほか、

駅前と会場にはボンタンの鉢を置き、実のついたボンタンを全国の方に見ていただきます。

選手の方々によい印象を与えるために「こんにちは」「おつかれさま」など、声かけ運動を進め、地域での啓蒙を図ります。

太陽国体を成功させた阿久根市にとって、高校総体も成功させる必要があります。それにはやはり市民の総体への参加、盛りあがりが必要だと思えます。あと七十日余りに迫った高校総体へ向け市民一丸となり運動を進めましょう。



会場となる阿久根市民体育館



実行委員会では事業計画など審議



上野さんら二十人を委嘱

市政全般に意見・要望



昭和五十七年度第一回の市政モニター会議が四月三十日、市役所会議室で行われ、モニター十五人が出席しました。

会議では、まず全員に委嘱状が交付されたあと、川畑市長が市政について現状を報告、「皆さんから寄せられる貴重なご意見、ご要望を市政推進のため役立たせていただきます。今後も一層のご協力

活発な意見や要望が出たモニター会議

をお願いします。」とあいさつしました。

市政モニターは、阿久根市がよりよい市政を推進していくため設置しているもので、市政に対する提言、相談、照会などが主な仕事で、五十七年度は市内の各種団体からの推せんや個人二十人の方にお願いしています。

ついで活発な意見が出されました。主なものは次のとおりです。
「高校総体、市制施行三十周年の年である、もっとPRを」、「市営住宅を市内各所に建設してほしい」、「市役所の市民課、税務課の昼休みの開放を」、「非行防止に青少年教育を積極的に」、「市民いこいの森と、保健センター・働く婦人の家のPRを」、「観光地づくり」に大きな公園の建設を、「市街地に公衆便所を」、「道路の整備は年々進んでいるが、今後も未改良地区の整備を積極的に」、「市立の保育所、児童館の入園児が減少しているが、この対策はどうするのか」など。

市政モニター名簿

- 町(町)松(町)村尾(城)矢(上)尾(松)中(田)下(浜)下(谷)
- (新)高(湯)本(中)大(上)遠(水)陳(飛)佐(川)仲(尻)瀬(黒)瀬(大)
- 茂(忠)造(隆)子(浩)文(静)行(治)春(博)三(義)利(尊)衛(郎)一(江)
- 啓(盛)サ(義)正(義)寛(重)軍(房)武(一)小(喜)良(徳)
- 町(下)口(村)濱(中)玉(永)永(野)見(楽)田(畑)本(木)崎(木)田
- 新(山)東(坂)中(益)田(児)盛(福)上(馬)狭(花)川(橋)松(洲)駄(太)

乳幼児(六歳未満)の医療費を助成

受給者証の手続きを

市では、六歳未満の乳幼児の医療費の一部を助成しています。次に該当する乳幼児をお持ちの方は

早めに受給者証の交付を受けてください。

▽助成を受けられる乳幼児

市内に住んでいる六歳未満の乳幼児、ただし歯科診療は四歳未満

▽登録の申請

保護者が健康保険証と印鑑を添

えて手続きされ、交付を受けてください。

▽助成される額

乳幼児一人につき毎月分の保険診療費の自己負担金から二千円を控除した額、最高三万七千円まで助成します。

▽助成を受ける手続

病院の窓口で従来どおり自己負担金を支払い、診療日の一カ月分

をまとめて福祉事務所または、病院などで交付される「助成金支給申請書」に病院などに証明を受け、福祉事務所に出していただきます。

市外、県外での診療で「助成金支給申請書」が必要の方は、福祉事務所に申し出てください。

病院などの証明は受給者証を持参し、毎月10日以降に受けてください。

詳しくは市福祉事務所へおたずねください。

農業従事者 今年は二人

富路さん、釜さん「頑張ります」と決意

今年、農業につく若者を励ます会が、四月二十日改良普及所で行われしました。

今年の就農者は二人、山口県に就職し、このほどUターンした内

田区の宮路政司さんと、今年中学校を卒業農業に従事する下村区の

釜孝志さん。会では二人に記念のジャンパーが贈られたあと、新井助役が「最近の農業は厳しいものがあります。健康に注意し、元気で頑張ってください」と激励。

二人が「明日の農業の担い手になります。」と決意を述べました。

暴走族を追放しよう

暴走をしない させない 見に行かない

六月一日は商業統計調査

調査員にご協力を

六月一日現在で指定統計調査が実施されます。全国の商店を漏れなく調査するいわば「商業の国勢調査」ともいわれるものです。

この調査の目的は、商業活動の実態や商店の分布状況、商品の流れなどを明らかにすることで、結果は、国や地方公共団体などにおけるいろいろな資料にするなど利用されます。

五月下旬から調査員がみなさまがたの商店を訪問し、調査票の記入をお願いしますので、協力ください。

阿久根市の商業



① お年寄りの生きかいを考える

ゲートボールに楽しむお年寄り、趣味に精出すお年寄り、元気なお年寄りの姿が目につきます。

健康で長生きできることは、私たちの願いであります。

わたしたちの国において、老年人口（六十五歳以上の人口）は、戦後急速に増加をつづけ、また、今後とも増えることが予想されています。

ここで、阿久根市における老年人口の動きを数字で見えてみましょう。

(十年間に一千人増加)

七人に一人が六十五歳以上のお年寄り——昭和五十七年四月一日現在、阿久根市内に住んでいる六十五歳以上のお年寄りの数は、四千八百八十八人、男子一千八百六十六人、女子二千九百四十四人で、総人口の十六%を占めており、約七人に一人が六十五歳以上のお年寄りということになります。

十年前の昭和四十七年が三千八百五十七人でしたので、この十年間に約一千人増加したことになります。この時期の人口割合に比べ五%増

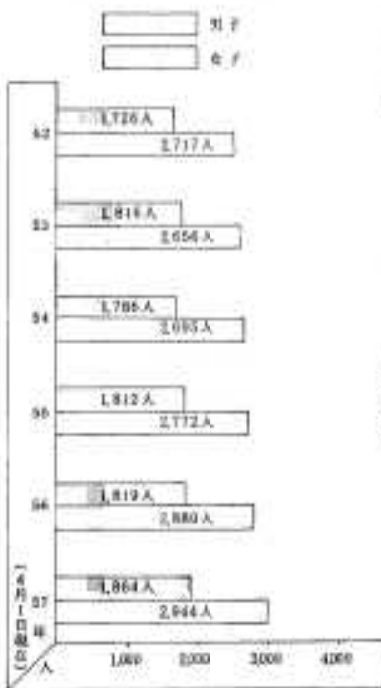
かけ足でやってくる高齢化社会

七人に一人が六十五歳以上

四、女子二千九百四十四人で、総人口の十六%を占めており、約七人に一人が六十五歳以上のお年寄りということになります。

十年前の昭和四十七年が三千八百五十七人でしたので、この十年間に約一千人増加したことになります。この時期の人口割合に比べ五%増

65歳以上の人口推移



えています。

このようにお年寄りの人口増加は今後も続き、十年後の昭和六十七年には、六十五歳以上のお年寄りの数は六千人に達し、人口の二〇%を占めるものと推計されます。

五人に一人がお年寄りということになります。

(みんなで考える問題)

ここで平均寿命を調べてみますと、明治二十四年の平均寿命はわずか四十二歳、昭和五十五年は男子七十三歳、女子七十八歳まで伸び、世界で最も寿命の長い国となりました。

この寿命の伸びは健康なお年寄りの増加につながり、今日の高齢者の働き場所、長くなった老後の生きがい、地域社会へのお年寄りの参加——など問題を投げかけています。

すでにお年寄りの方、これから迎えようとする方、いずれはお年寄りの仲間入りをする若い世代をふくめ、高齢化問題はみんなの課題であるといえます。

シリーズで、長くなった老後生活の生きがいとお年寄りを取り巻く地域社会にスポットをあててみました。





きれいな水は私たちの財産

し尿浄化槽、水洗便所の維持管理は十分に

最近、住宅にし尿浄化槽が普及しています。しかし、し尿浄化槽は誤った使い方をしたり管理を怠ると、浄化されない汚水が側溝や水路に流され、河川を汚すばかりでなく悪臭など、近所の人々に迷惑をかけるので、設置者は次のことに注意し、正しい知識を身につけて、常に正常な機能を保つよう維持管理に努めてください。

- 保守点検と清掃
どんな浄化槽でも、一度取り付けたら一分の休みもなく働きつづけています。しかし、その働きがい、も正常であるとは限りません。そこで、定期点検や、清掃が必要となります。
- 法定検査
し尿浄化槽は、その維持管理の状態で、毎年一回厚生大臣の指定機関の検査を受けることが義務づけられています。
- 日常の管理
次のことは日頃から心掛けて、いつまでもきれいにしましょう。

▽マンホールのふたはきちんと

短歌

チンドン屋が前に行くゆゑ街なか
に歩みいささか具合が悪い

松永 光志

臥龍梅見むと来たれば学生のぬか
づきてををりその前神前に

築瀬 紀夫

ふるさとの花よひらけと比鳥行き
の夫の靴に種子を入れにき

横崎 サチ

友の家訪ふと来たれば山裾の緑に
映えて鮭のほり舞ふ

坂元 竜馬

なつかしの写真



しめ、上に物をおかないこと
▽送気口の上に物をおいたりしてふさがない。
▽ばつ気浄化槽の場合は、電気を切ってはいけません。
▽送気口や排気管の出口には防虫網を取り付けて害虫の出入を防ぐこと。

阿久根短歌会

旅にして座席に姿勢さまさまに変
へて若きら短在なく居る

勝日 悦子



折田憲司選

食糧管理法が改正

違反者は罰則

食糧管理法が昭和五十七年一月から改正されました。主なものは次のとおりです。
○米穀の販売業者が、これまで登録制から許可制に。
○配給割当や購入券による売買の義務が廃止されました。
○個人間の非営利的譲渡行為(裸故米、贈答米)が認定されました。

その他詳しくは商工観光課におたずねください。

阿久根都市計画事業 鶴見土地区画整理審議会 委員の選挙について

阿久根市では、鶴見地区画整理事業を実施中であり、同事業の土地区画整理審議会委員の任期が昭和五十七年七月三十一日で切れ、七月三十一日に選挙が実施されます。

そこで、同施行地区内の土地の所有者及び施行地区内の土地についての借地権を有する方は、選挙権、被選挙権を有するための届出が必要になります。届出は六月五日までです。

届出など詳しいことについては市役所都市計画課まで問い合わせてください。

七月十五日が試験日 調理師試験の案内

- 期 日
昭和五十七年七月十五日(休)
- 試験場所
鹿児島県立短期大学
(鹿児島市下伊敷町)
- 書類受付期間
六月五日(日)まで

詳しくは、市役所保健衛生課又は、出水保健所に問い合わせてください。



わたしたちの学校 シリーズ⑭

脇本小学校

| | |
|-----|------|
| 学級数 | 16 |
| 児童数 | 493人 |
| 校長 | 今村吉秀 |



元気な新一年生

「きまり正しく思いやりが
あってねばり強い子に」

春らんまん、新学年をむかえて、四九三人全員がはりきっています。私たちの脇本小学校は、古い校舎ですが、とても美しい学校です。

校歌

一、海はさかまく黒之瀬戸
潮乗りさる強い腕
苦難に負けぬその船と
育て脇本若い芽よ

学校のおゆみ

- 明治7年 出水郡分校として創立
- 〃 23年 尋常小学校に指定される。
- 昭和11年 校歌制定
- 〃 16年 脇本国民学校と改称
- 〃 16年 西校舎6教室新築
- 〃 18年 東校舎6教室新築
- 〃 19年 西校舎2教室新築
- 〃 22年 脇本小学校と改称
- 〃 28年 運動場拡張
- 〃 29年 学校正門設置
- 〃 30年 三笠町阿久根市への編入のため阿久根市立脇本小学校と改称
- 〃 32年 給食室施設完備
- 〃 34年 講堂落成 創立80周年記念式典挙行
- 〃 36年 脇本簡易水道引込完了
- 〃 39年 県教委より県学校給食優良校として表彰をうく
- 〃 41年 鉄筋校舎6教室完成
- 〃 43年 全国学校給食会より学校給食優良校として文部大臣賞をうく
- 〃 44年 第5回全国日本作文コンクールで文部大臣賞をうく
- 〃 46年 校庭緑化芝移植
- 〃 47年 プール完成(7コース、補助プール付)
- 〃 49年 体育館完成
- 〃 53年 創立百周年記念式典挙行
- 〃 55年 青少年健全育成に関する標柱、塔建立

現在校庭の学級園は色とりどりの花でいっぱいです。またビデオなど、いろいろの施設の整った学校です。

きまり正しく、思いやりがあつて、ねばり強い子供になることを目標に、毎日、先生方とともに、勉強に運動にはげんでいます。

私たちの学校は、下村海岸、笠山など、とても自然に恵まれています。この恵まれた自然環境を利用して、いろいろな行事や活動が行われます。下村海岸での六月の

浜遊び、十二月の持久走大会、一月のたこ上げ大会など、全校児童が学年別、部活動に分かれて、競い合ったり、楽しく遊んでいます。また体育、理科、学級会などの授業時間にもよく利用しています。

その他には、ゆとりの時間を利用して笠山登山、いも栽培、一鉢栽培などがあります。いも栽培は、いも植えから、草とり、いも掘りまで自分たちの手でを行い、収穫したいものは、給食に食べています。

これからも、花のように、美しい心を持ち、下村海岸できたえた強い身体で、りっぱな子供になるように努力していきたいと思えます。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

- ありがとうございます。(敬称略)
- 新町清孝(段) 岩元正和(遠矢)
- 本蔵芳江(浦) 吉田淳義(牟田)
- 松下均(大林) 下園キヨノ(的場)
- 野村カツエ(黒之浜)

図書館だより

新しい本の案内



- ▽西村寿行著「ふたたび渚に」▽
- 高城音弥ほか著「田中角栄と日本人」▽寺岡昇著「生活の先人訓」▽
- 志茂田景樹著「鉄の魔界」▽山口良治著「俺かやらねば誰かやる」(高校ラクビー)日本一監督熱血教育論▽
- 詫摩武俊著「母と子の心理学」▽フエニックス・ノア著「ノストラダムスと大黙示録」▽
- 下川千代子監修「食べる健康法」のすべて▽
- 水田義直著「むかし話のつづき」▽
- 富沢繁著「新兵サシよもや物語」▽
- 花山勝友著「だれでもわかるお経の本」▽
- 村上巖著「健康な子ほど優秀になる」(ひ弱な小学生に育てるな)▽
- 水六輔著「次郎長伝・伝・伝」▽
- 松本直治著「火の墓標」(原巻よ一人息子をかえせ)



ドウダンツツジで 高さ三メートルの「五重の塔」

市内横手の横手輝志さんが自宅の庭で育てているツツジは、ドウダンツツジの「五重の塔」。

横手さんが二十五年前、小さな苗から大事に育てたもので、今では樹木の下が直径二メートル、一番上が五十センチで高さが三メートルに成長し、立派な「五重の塔」をしています。

この四月にはかわいい花を木いっばい付け、近所の人ものめずらしく見物に訪れていました。横手さんは「朝起きて、この木を見るのが楽しみ」と五重の塔のツツジに目を細めています。



立派な「五重の塔」のツツジ

市民のひろば

すこやか



牧内健志ちゃん
1歳6カ月 市内牧内

音とカンを頼りに 器楽演奏を披露

蓮の実園
お年寄り



市内鶴川内の盲老人ホーム「蓮の実園」は、このほど開園五周年を迎え、同園で式典が行われましたが、式典でお年寄りたちが器楽の演奏を披露、詰めかけた来賓の方々から温かい拍手が送られました。

蓮の実園は、目の不自由な方々が入っている老人ホームで、現在五十人が入所されています。

みことな演奏を披露する
蓮の実園のお年寄りたち

桑島にシカ!!

二頭を確認、ツノを見つける



見つけたシカのツノ

桑島のシカを確認しよう。と四月十三日、市の商工観光課が桑島を調査し、シカ二頭を自撃、生息が明らかになりました。桑島は阿久根から約二キロの沖に浮かぶ無人の島で、周囲二・三キロ、五十メートル離れた南には阿久根大島があり、ここには現在百三十頭のシカが放し飼いにされていますが、桑島にはこれまでシカが住んでい

た形跡はありませんでした。この日の調査には十人が参加し、約二時間島内をくまなく探した結果、シカ二頭の姿と、ツノ一本を発見生息が確認されたものです。関係者は「大島のボスと二番ボスが海を泳いで住んでいるのだから」と話しており、商工観光課でも観光面でPRできないものか検討しています。

園では生きがいづくりと余暇利用に、五つのクラブを設置しています。器楽クラブもその一つで、現在二十一人が部員で、練習は毎週木曜日、一時間みっちりします。目が不自由なので音とカン、それに指導員の協力が頼りで、これまでに一生懸命練習に励んできました。

この日は八十七歳の竹下ツタきさんから二十一人が、タンバリン、カステネット、ハーモニカ、鈴などの楽器を使い、「春の小川」「海」「さくらさくら」など五曲を披露。障害にも負けない元気なところを見せてくれました。

関東地区阿久根会総会 阿久根弁でにぎわう

関東地区阿久根会の総会が四月十一日東京で行われ、会員や家族をふくめ百五十人が出席しました。

総会には川畑市長、大田議長も出席、川畑市長が「ふるさと阿久根も三十周年を迎え大きく発展しています。皆さん方も阿久根人としての誇りを持ち、元気で頑張ってください。」と激励しました。

浜崎純一代表幹事が「会が発展するよう皆さんとともに力を合わせましょう。」とあいさつ。さっそく懇話会に移り、阿久根焼酎をくみ交わしにぎわいました。

また、阿久根出身の宮尾すすむさんもかけつけ総会に花を添えました。



にぎわった、阿久根会総会

市内初のサイクリングラリー 自転車で安全運転を学ぶ

阿久根青年会
議所主催の第一

回サイクリングラリーが四月十一日行われ、小中学生四十七人が参加。交通ルールを学びながら競技を楽しみました。

このサイクリングラリーは、ある距離の一定時間を決めておき、参加者の出した時間との差で順位を決めます。また、チ

エックポイントが設けてあり、ここの動作も点数に記録される。

この日のコースは阿久根中学校をスタートして山下、長野、大尾

を通る十一・八。

子どもたちは自分の自転車を持ち込み、背中にゼッケンを付け、三十秒ごとにスタート。コース内に設置した五つのポイントでは会議所員らのチエックを受け、自分のカンを頼りに自転車を操作し、次々にゴールしていました。



安全運転で競技を楽しむ

旧三月十日祭り

歌や踊りで大漁祈願

阿久根市の伝統行事、金刀比羅神社（旧三月十日）祭りが、四月三日と四日市内の漁村でにぎやかに行われました。

あいにく雨に見舞われ、阿久根漁協では大島で神事のもと、漁協ホールに会場を移し、演芸大会が行

われました。

また、黒之浜区でも漁村センターに地区民多数が集まり、班ごとの踊りや歌で祭りは盛り上がり、四日は、中央公園での小中学生による相撲大会や剣道大会もあり、この二日間、大漁と海の安全を祈りにぎわいました。

阿久根の民話 ④



「巡礼の松」

幕末の頃のことでした。

十五歳くらいの娘巡礼が、折口浜を経て脇本瀬之浦の伊勢神社の前にたどり着きました。娘は社前に進んで手を合わせると石段に腰を下ろして休憩しました。そして折口浜で拾った美しい貝がらを小さな袋から取り出して遊び始めました。

そこを折悪く素性のよくない一人の若い郷士が通りかかり、この娘に目を止めたのでした。この娘の郷土仲間でも評判の悪党で強奪癖があるこの郷士は、娘の小袋に沢山のお金が入っているものと勘違いし、強奪することになりました。

神社から桐野に通ずる道は、旧道の小路が雑木林の中を通った寂しい道で、ことに丘の中腹は人家に遠く、人通りも少ない所でした。

ここで悪党郷士は娘を襲い、はじめ小袋だけを取り上げる計画でしたが、娘が悲鳴を上げて逃げ出したので無惨にも切り捨ててしまいました。

翌日、娘の遺体は通りがかりの村人に発見されました。悪党郷士の仕業と知った村人たちは娘の死をわがことのように悲しみ、一同でその場に丁寧に埋葬し、目印に一本の松の木を植えたのでした。

これが巡礼の松といわれ、その後三十数年経った明治の中頃には、丘の上の一本松と目印になる大木になりました。

その頃、風の便りに伝え聞いたという娘の両親がこの一本松を訪ね、村人たちから娘の最期を詳しく聞いて非常に、嘆き悲しみました。

当時、瀬之浦では説教所の建設が話し合われていましたので村の代表たちの計らいで、娘の供養にと説教所の建築にはこの巡礼の松が棟木に使われ、今日に至っています。



巡礼松の跡

行事催し物など
ごしお寄せ下さい

お知らせ



無料郵便はがきをどうぞ
重度の身体障害者の方に

郵政省は重度の身体障害者(二級と三級)で、昭和五十七年四月一日現在、満六歳以上の方に、身体障害者福祉強調運動にちなむ郵便はがき二十枚を無料で差しあげることになっています。

申し出は、五月三十一日までで

す。ご希望の方は印鑑と身体障害者手帳をもって、お近くの郵便局に申し出て下さい。
詳しくはお近くの郵便局か福祉事務所まで。

簡易保険、郵便年金 作文コンクール作品募集

郵政省では、今年も作文コンクールを実施します。
阿久根市でも五十六年度は多く

告知板 五月は国民年金の 現況届の提出時期です

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受給されている方は、毎年五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を市役所を通じて社会保険事務所に提出することになっています。

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受給されている方は、毎年五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を市役所を通じて社会保険事務所に提出することになっています。なお、昨年六月一日以降に新たに年金を受け始めた方や支給停止が解除された方、または障害年金の廃止等級が変わったことなどにより年金額が改定された方は、今

の友だちが入賞しました。どしどし応募ください。

○応募資格

小学校五年以上中学校三年生まで

○応募期間

六月三十日まで

○作品題

▽簡易保険、郵便年金に関係あるもの
▽自由題

○詳しくは、近くの郵便局又は、学校へおたずねください。

毎月第二水曜日は
交通事故相談日
市民相談室

年は現況届を提出する必要があります。また、老齢年金や通算老齢年金を受給されている方の現況届は、各人の誕生月の末日までに社会保険庁に提出することになっています。

現況届について詳しくは市役所国民年金係にお問い合わせください。



昭和五十七年五月十日発行

鹿児島県 阿久根市役所編集発行

困りごと、悩みごとは

お近くの派出所・駐在所に

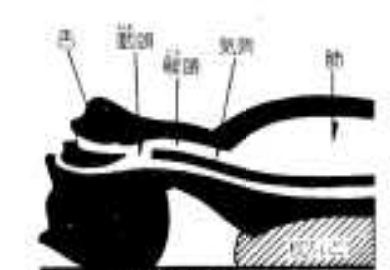
警察は、市民の皆さんの日常生活の安全と生活を守るため、昼夜の別なく犯罪の予防や警戒活動を行っています。

警察では皆さんからの要望、意見、悩みごと、困りごとなど誠意をもって相談に応じ、その解決に協力しています。

とくに、この役割を果たしているの派出所や駐在所の警察官で、お近くの派出所、駐在所のおまわりさんをどしどしご利用ください。

知っておきたい 応急手当

- ① 意識がないとき
意識がなくなると、舌の根元がのどの奥へ落ち込み、空気の通り道がふさがってしまいます。おおむねに寝かせ、頭をそらしてのどを真つすくにしましょう。これを「気道確保」といいます。
- ② 呼吸のないとき
人工呼吸をします。この場合にもまず「気道確保」を行います。
- ③ 呼吸も脈もないとき
人工呼吸と心臓マッサージを同時に行います。
- ④ 出血が多いとき
傷口をガーゼやハンカチで強く押さえます。



気道確保の正しい方法

ときは、傷口と心臓の間で脈の感じる箇所を指や「止血帯」などで圧迫します。
一時間以上止血しておくと危険なので、早めに医師の診断を受けましょう。
このほか、知っておきたい応急手当としては、骨折ややけどなどの手当があります。